

6. 地域貢献

6-1 地域貢献事業

本学は、「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」をモットーとして、地域連携活動を推進しています。平成18年度に初めて行われた日本経済新聞社の全国国公立大学地域貢献度調査において総合第1位にランキングされて以来、その後も常に上位にランキングしております。

平成29年度に実施した地域貢献に関わる事業のうち、「環境」を扱った事業を紹介します。

事業名	概要
地域の緑環境を守るグリーンスタッフ活動等支援事業	大学および演習林が持つ技術と知識を地域に普及、啓発するための講習と山作りの実践を通じて、地域の緑資源の充実に貢献することを目的に、栃木県環境森林部環境森林政策課と公益社団法人とちぎ環境・みどり推進機構が行なっている「グリーンスタッフ養成講座」を農学部附属演習林で開催しました。
演習林子ども開放事業 おいでよ！森の学校へ ー大学の森をたんけんしよう！ー	子どもたちを招いて、林業機械操作体験や木工体験等の森林に関わる様々な体験学習を行いました。

6-2 公開講座等

平成29年度に実施した公開講座や、学部、センター等で実施した公開講演会等のうち、「環境」をテーマにしたものを紹介します。

講座名等	概要
里山で楽しむランブリング ーぶらぶら歩きながら 茂木の里山を撮り食べ語り合おうー	茂木町の里山をゆっくり歩きながら季節ごとの風景や自然を楽しみ、写真に収め、地域ならではの食材を味わい、地元の方々と語り合いました。各自が撮りためた写真を『ふみの森もてぎ』のギャラリーに展示し、フォトコンテストを行いました。
いのちをいただきます ー食と農の視点で、食卓から健康まで を考えるー	放射能汚染により、食と健康への関心が高まる中、自然栽培による野菜の育て方から、個々の体質に合った食物の選び方、免疫力を上げる生活習慣、そして心の健康法まで幅広く解説しました。
鳥獣管理士養成講座	農作物や森林被害、生活安全など全国各地で深刻化しつつある、人と野生動物の問題を解消するために必要な知識と技術を学びました。

<p>役に立つ気象学 —実生活にすぐ活用できる役立つ気象学—</p>	<p>気象に関心を持ってもらい、巷に溢れる情報を上手に活用していく知識を解説しました。</p>
<p>身近な水の水質を測定してみよう</p>	<p>中学生を対象として、池の水や水道水、ミネラルウォーターなど身近な水に含まれる物質の濃度測定を行ったり、簡単な水の浄化の操作を経験してもらうなど、生活に必要な水環境保全の重要性を学ぶ体験学習会を行いました。</p>
<p>栃木県の放射能汚染の状況とこれからを考えるワークショップ@宇都宮大学</p>	<p>原発事故後の土壌汚染状況を調査する「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト」の中心的メンバーである市民放射能測定所の大沼淳一、章子両氏を講師に迎え、調査結果報告会並びにワークショップを開催し、学生、市民約 60 名が参加しました。</p>
<p>公開講義 「日本の再生可能エネルギーを語る：地方でのビジネスの現場から」</p>	<p>五十川雅彦氏(サステナジー株式会社;本学国際学部出身)が、日本の再生可能エネルギーの現状や課題について、講演しました。また、学生や地域の方々との交流会も開催し、学生、市民約 60 名が参加しました。</p>
<p>公開シンポジウム 原発事故後 7 年目の課題を考える</p>	<p>原発事故後に不可視化が進む低認知被害と、被害と救済の多様性、普遍性を主要なテーマとして、茨城大学、福島大学との研究コンソシアム企画を開催し、学生、市民等約 120 名が参加しました。</p>
<p>宇都宮大学附属図書館シンポジウム 「田中正造—その社会活動の現代における意義」</p>	<p>本学附属図書館に足尾鉍毒事件で知られる田中正造研究の第一人者である元熊本大学文学部長小松裕 氏の蔵書等の寄贈が平成 28 年度にありました。その記念として、渡良瀬川研究会顧問の赤上剛氏の講演及び本学教員と栃木県立佐野高の生徒が参加したパネルディスカッションを行いました。</p>

6-3 学生ボランティア活動等

本学では、国立大学法人宇都宮大学「峰が丘地域貢献ファンド」(通称:峰が丘地域貢献ファンド)を設立し、賛同者(資金拠出者)からの拠出金及び本学資金を運用財源として、運用益を学生が参加する地域貢献事業に対して支援しています。この事業の一環として行った平成29年度の活動の一部を紹介します。

■大学構内の花壇の整備・環境美化

農学部 3年 野口 穂

私たち宇都宮大学園芸研究会は、宇都宮大学峰キャンパス内の花壇の整備を主な活動として行っている団体です。数多くの花壇やプランターを利用して季節ごとの花々を植栽しています。

■活動紹介

1. 花壇の整備

私たちは峰キャンパス内の5か所の花壇を整備しています。周囲の風景や日当たりなどを考慮しながら、季節に合わせてその花壇に最適な花を植栽します。きれいな花を長く咲かせるためには日常的な管理が欠かせません。植える前には過去の栽培記録を参考にしながら土づくりをし、植えてからは除草や花がら摘みを行います。必要に応じて肥料もまき、みなさんにより美しい花壇を見ていただけるように努めています。

2. 花の栽培

花壇に植える花は、花を咲かせるまで自分たちで育成します。育苗期間中は生育に合わせて最適な土に植え替え、水をやり、時には薬剤も用いて元気な株の育成を目指します。



育苗の様子

3. UUプラザ前のプランター設置

毎年UUプラザで私たちが育成したパンジーの配布を行ってききましたが、平成29年度は天候不順の影響を受けて配布用パンジーが十分に確保できませんでした。そこで、パンジーやビオラ、ヒヤシンスなどを寄せ植えたプランターをUUプラザ前に設置しました。



UUプラザ前のプランター

4. 今後の活動

私たちは花とのふれあいを通じて、学生だけでなく宇都宮大学を訪れる地域の皆様に心の安らぎとコミュニケーションの場を提供することを活動目的の一つに掲げています。東門花壇やUUプラザ前、フランス式庭園内花壇などたくさんの方の目に触れる花壇もあり、より丁寧な花壇・プランター整備を通じて、見る人の安らぎにつながる学内美化を目指します。



大学会館北側花壇